2025（令和７）年５月 30 日

病害虫発生予察情報

向こう１ヶ月（６月）の予報

令和７年度　予報第２号

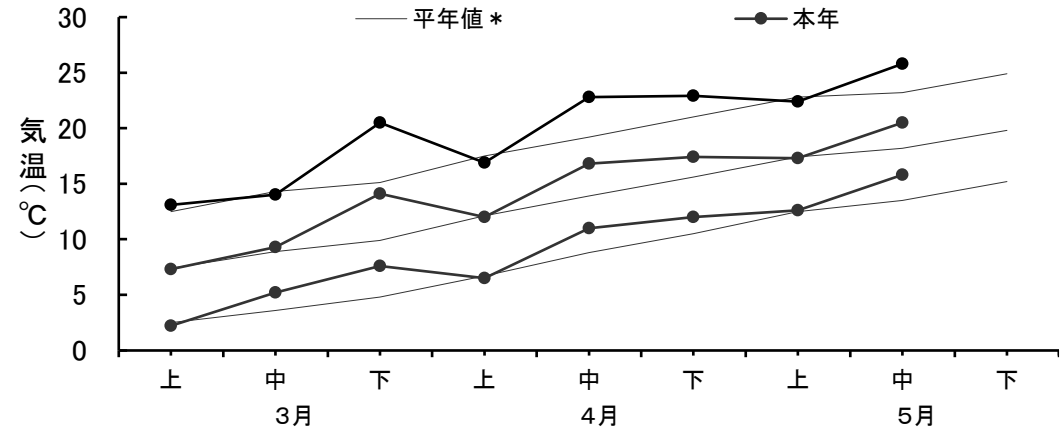
東京都病害虫防除所
〒190-0013　立川市富士見町 3-8-1
Tel 042-525-8236　Fax 042-529-0943
e-mail: S0200303@section.metro.tokyo.jp

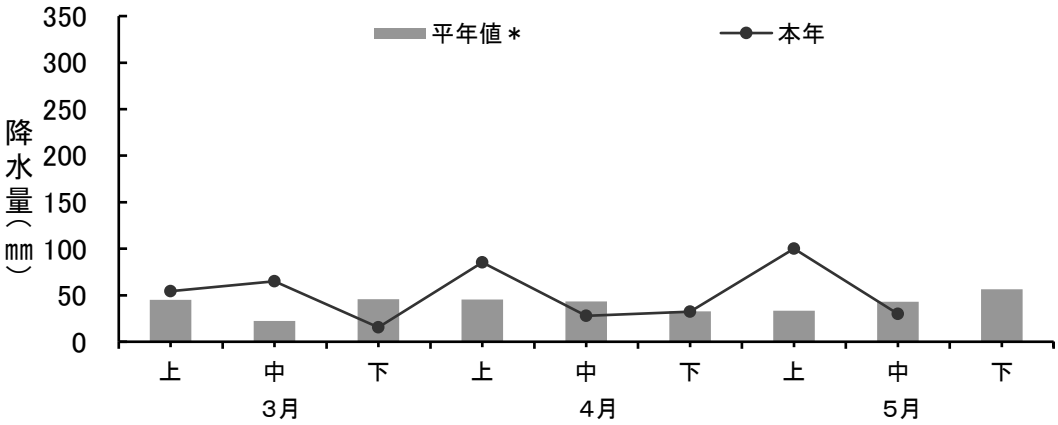
【気象予報】令和７年５月 22 日 気象庁 地球環境・海洋部発表、関東甲信地方の１か月予報より

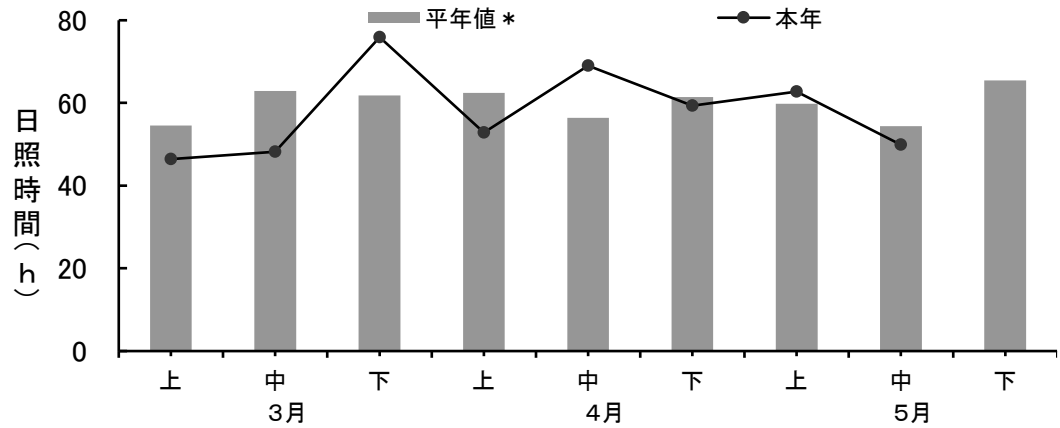
	要　素	低い（少ない）	平年並	高い（多い）
確 率	気　温	２０	４０	４０
	降 水 量	２０	４０	４０
	日照時間	４０	４０	２０

【気温・降水量・日照時間の経過】　平年値と本年の５月中旬までのデータを示した。

（東京都府中市　気象庁気象観測所データ）







＊ 1991～2020年の平均値

2025（令和７）年５月 30 日

6月から8月は農薬危害防止運動を推進しています！

この期間は病害虫等の発生が多くなるため、農薬を使用する機会が多くなります。散布前にはラベルを確認するなどして、適正使用を徹底し、農薬を安全に使用しましょう。

★ 住宅地や公共施設周辺での農薬散布には十分な配慮をしましょう！
★ 近隣に影響の少ない天候や時間帯に散布するほか、飛散しにくい農薬や散布ノズルを使用し、飛散防止に努めましょう！
★ 農薬は鍵のかかる場所で保管して、食品や小児から遠ざけましょう！
★ 在庫台帳と防除記録をつけましょう！

【病害虫発生予報】　（各根拠に記した（ ）内記号は発生助長要因の強度を示す）

Ⅰ．果樹の病害虫

１．ナシの黒星病

予報内容
　発生量　　やや少
予報の根拠
　１）巡回調査では各地とも発生は少ない。（－）
　２）気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想される。（＋）
防除上考慮すべき事項
　１）防除指針に従い防除する。

２．ナシのアブラムシ類

予報内容
　発生量　　並
予報の根拠
　１）巡回調査では、発生は平年並である。（±）
　２）気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想される。（±）
防除上考慮すべき事項
　１）防除指針に従い防除する。

３．果樹共通　果樹カメムシ類
（チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ、ツヤアオカメムシ）

予報内容
　発生量　　やや多
予報の根拠
　１）５月第１～４半旬までのフェロモントラップでの誘殺数はやや多い。（＋）
　２）５月第１～４半旬までの予察灯での誘殺数はやや多い。（＋）
　３）サクラへの飛来調査では、果樹カメムシ類の目撃数は平年並である。（±）
　４）気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想される。（±）
防除上考慮すべき事項
　１）園内を見て回り早期に飛来状況を把握する。
　２）早期の袋がけや多目的防災網（目合９mm クロス入り）を園全体に展張し、果実への加害を予防する。

Ⅱ．茶樹の病害虫

１．ハマキムシ類

予報内容

発生量　　チ　ャ　ノ　ホ　ソ　ガ：　並
　　チャノコカクモンハマキ：　並
　　チ　ャ　ハ　マ　キ：　並

予報の根拠

１）フェロモントラップ調査での誘殺数は、チャノホソガ、チャノコカクモンハマキ及びチャハマキは平年並である。（±、±、±）

２）チャノホソガ及びチャハマキは今後発生量が増加する。（＋）

３）気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想される。（±）

防除上考慮すべき事項

１）防除指針に従い防除する。

２．カンザワハダニ

予報内容

発生量　　少

予報の根拠

１）巡回調査では、発生は少ない。（－）

２）気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想される。（±）

防除上考慮すべき事項

１）防除指針に従い防除する。

Ⅲ．野菜の病害虫

１．トマト灰色かび病（施設・半促成）

予報内容

発生量　　やや少

予報の根拠

１）巡回調査では、各地とも果実の発病は少ない。（－）

２）気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想される。（＋）

防除上考慮すべき事項

１）施設内の過湿に注意し、病果、病葉はただちに処分する。

２）防除指針に従い防除する。

２．トマト葉かび病（施設・半促成）

予報内容

発生量　　やや少

予報の根拠

１）巡回調査では、各地とも発生は少ない。（－）

２）気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想される。（＋）

防除上考慮すべき事項

１）防除指針に従い防除する。

３．キュウリうどんこ病

予報内容

発生量　　並

予報の根拠

１）巡回調査では、各地とも発生はやや少ない。（－）

２）気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想される。（＋）

防除上考慮すべき事項

１）防除指針に従い防除する。

４．キュウリ褐斑病

予報内容

発生量　　やや少

予報の根拠

１）巡回調査では、施設栽培で発生は少ない。（－）

２）気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想される。（＋）

３）栽培後期に多発する傾向がある。（＋）

防除上考慮すべき事項

１）防除指針に従い防除する。

５．キュウリべと病

予報内容

発生量　　並

予報の根拠

１）巡回調査では、発生はやや少ない。（－）

２）気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想される。（＋）

防除上考慮すべき事項

１）防除指針に従い防除する。

６．カブ・コマツナの白さび病（露地）

予報内容

発生量　　やや少

予報の根拠

１）巡回調査では、発生は少ない。（－）

２）気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想される。（＋）

防除上考慮すべき事項

１）防除指針に従い早めに防除する。

７．ネギさび病

予報内容

発生量　　やや少

予報の根拠

１）巡回調査では、発生は少ない。（－）

２）気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想される。（＋）

防除上考慮すべき事項

１）発生を認めたら防除指針に従い早めに防除する。

８．ネギアブラムシ

予報内容

発生量　　少

予報の根拠

１）巡回調査では、発生は少ない。（－）

２）気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想される。（±）

防除上考慮すべき事項

１）防除指針に従い薬剤を散布する。

２）ネギ類は薬剤が付着しにくいため展着剤の加用など考慮する。

９．ネギアザミウマ

予報内容

発生量　　やや多

予報の根拠

１）巡回調査では、発生量はやや多い。（＋）

２）今後、増加期が継続する。（＋）

３）気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想される。（±）

防除上考慮すべき事項

１）防除指針に従い薬剤を散布する。

１０．コナガ

予報内容

発生量　　少

予報の根拠

１）巡回調査では、発生は少ない。（－）

２）フェロモントラップへの誘殺数は平年並である。（±）

３）気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想される。（±）

防除上考慮すべき事項

１）薬剤抵抗性の出現に注意して、系統の異なる薬剤をローテーション散布する。

２）コマツナ・カブなどでは被覆栽培を行い、成虫の侵入を防ぐ。

１１．ヨトウガ

予報内容

発生量　　少

予報の根拠

１）巡回調査では、発生量はやや少ない。（－）

２）フェロモントラップへの誘殺数は少ない。（－）

３）気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想される。（±）

防除上考慮すべき事項

１）防除指針に従い薬剤を散布する。

１２．コナジラミ類（施設）

予報内容

発生量　　並

予報の根拠

１）巡回調査では、発生はやや少ない。（－）

２）今後、増加期が継続する。（＋）

３）気象予報によれば気温は平年並～高いと予想される。（＋）

防除上考慮すべき事項

１）施設周辺の雑草防除を徹底する。

２）開口部に防虫ネット等を張って外からの成虫の侵入を防ぐ。

３）今後は黄化葉巻病を媒介するタバココナジラミ類の発生に注意する必要がある。

１３．露地野菜類のアブラムシ類

予報内容

発生量　　並

予報の根拠

１）巡回調査では、発生は平年並である。（±）

２）今後、増加期が継続する。（＋）

３）気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想される。（±）

防除上考慮すべき事項

１）発生を見たら作目ごと、防除指針に従い薬剤を散布する。

１４．ニジュウヤホシテントウ類（テントウムシダマシ）

予報内容

発生量　　少

予報の根拠

１）巡回調査では、発生は少ない。（－）

２）今後、増加期にあたる。（＋）

３）気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想される。（±）

防除上考慮すべき事項

１）防除指針に従い薬剤を散布する。

防除所ホームページ

https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/nourin/shoku/anzen/boujyo/

病害虫の発生予報、発生状況、防除方法などをお知らせしています。